

龍郷町  
町制施行

広報

Public Relations TATSUGO TOWN

40周年

# たつごう

4 No.441  
2015



## ピカピカの1年生

(大勝小学校)

4月6日は町内の小学校(新1年生75名)、  
中学校(同52名)で入学式がありました。  
児童生徒たちは新しい学校生活に心を弾ませ、  
大きな一歩を踏み出しました。

(16~17ページに小学生の写真特集)

## 4月号の主な内容

- 施政方針 ..... P2~
- 特集「人口なぜ減らない」..... P4~
- 議会だより ..... P7~
- お知らせほか ..... P18~



# 平成27年度

# 施政方針

(抜粋して掲載)



町長 徳田康光

## はじめに

私は、一昨年11月に町長に就任してから、2年目になります。この間、龍郷町が将来に向かって発展し続けるために、若者が夢と希望を持てるまちづくり、高齢者が生きがいと安らぎを持つて暮らせるまちづくりをモットーに、町政を推進しているところであります。

平成27年度も、第5次龍郷町総合振興計画の「歴史と文化をつむぎ 未来へつなぐまちづくり」を基本理念に、未来への夢と笑顔があふれる龍郷町を創って参りたいと考えております。

これらの実現のためには、町民の皆様の知恵と力の結集

が欠かせないものであり、町民自らがまちづくりに参画し、自らの考えで自立したまちづくりを推進するという認識を持つていただき、行政と町民が一体となった取り組みを推進しなければならぬと考えております。

本町の人口は、全国的に人口減少が進む中、昭和50年代からほぼ横ばいの状態にありますが、昨年来、減少傾向に転じているところであり、今後は人口増加による地域活性化を図るために、産業の振興、雇用の創出、子育て支援策など福祉の充実、生活環境の整備、教育環境の充実などを推進し、若者の定住促進に努めて参ります。

## 現状と町政に臨む

### 基本方針

さて、本年度は町制施行40周年の記念すべき節目の年です。戦後70年の節目の年と相まって、気持ちを新たに行政

運営に取り組みなければならぬと思っております。

平成27年度は、「龍郷町生涯学習センター（仮称）」の建設工事が着工します。平成27年度から28年度の2カ年計画で建設しますが、建物内の資料館の展示物や備品等の整備、学芸員の配置など、生涯学習センターの総合的な運営計画を策定し、有効活用を図らなければならぬと考えております。

龍郷町生涯学習センター（仮称）



このほか、主な事業として、高校生バス通学費助成事業、航路航空路運賃軽減事業、農林水産物輸送コスト支援事業、円林道の舗装事業、

青年就農給付金事業、手広海岸観光施設整備事業、龍南地区簡易水道基幹改良事業（赤尾木地区）、道路改良事業（茶ノ安木屋場線・浦ノ赤尾木線・前川名里線、橋梁補修事業、上戸町営住宅建設事業、公営住宅ストック総合改善事業（赤尾木団地））などを計画しています。

平成27年度の町政運営にあたりましては、引き続き第5次龍郷町総合振興計画に基づいて、次に示す6つのまちづくりを基本政策として、諸施策を展開して参ります。

## 地域資源を生かした産業を創造するまちづくり

本町は、亜熱帯性の温暖な気候、広大な海域や森林資源に恵まれており、これらの自然環境・資源を活用した、農林水産業の振興を引き続き展開して参ります。

商工業の振興につかましては、プレミアム商品券発行助成など商工業者の自主的な活動を支援して参ります。大島紬の振興につかましては、本町の伝統柄である「龍郷柄」

「秋名バラ」を積極的に宣伝するなど、伝統産業の再生に努めて参ります。

特産品の振興につかましては、物産展への参加や友好都市盟約を締結した菊池市との物産交流を継続して実施し、島育ち産業館においても直販所の設置や日曜朝市を開催し、地産地消の推進や特産品の販路の拡大・情報の発信に努めます。

魅力ある観光の振興につかましては、奄美・琉球諸島の世界自然遺産登録に向けた取り組みとして、今年度は国立公園の指定を目指しており、観光客の増加に対応したエコツーリズムを推進します。

## 健やかで安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり

町民の健康づくりにつかましては、生きがいを持つて豊かな人生を過ごすうえで極めて重要であるとの認識のもとに、感染症予防や健康増進の充実を努めて参ります。

子ども子育て支援法が本年4月から本格的に施行されますが、龍郷町子ども・子育て

会議のご意見等を伺いながら、本町「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て家庭の支援や待機児童の解消など児童福祉の充実に努めて参ります。

また、高齢者など要援護者を地域で支え、安心して暮らすことができるよう見守り隊の支援や組織づくりを各集落で行うとともに、電気、ガスなどのライフライン事業者や郵便局、新聞、金融など、定期的に家庭を訪問される事業者の方々と連携して見守り支援の充実を図り、安心安全な町づくりを進めて参ります。

### 快適な生活環境で ゆとりあるまちづくり

消防防災対策につきまして、龍郷町地域防災計画を基本とし、町民と行政が一体となる対策を進め、災害に強い町づくりに取り組んで参ります。また、災害時における情報伝達体制を強化するため、「エフエムたつごう」とも連携しながら、防災行政無線の整備及び保守管理を継続して行って参ります。

消防体制の充実・強化につきましては、平成27年度に救急救命士4名を救急救命東京研修所に派遣し、救命率の向



龍郷消防分署

上につなげ、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めて参ります。

### 豊かな心を育む教育と歴史と 文化が薫るまちづくり

平成27年度町教育行政重点施策に基づき、「知・徳・体・聖」の調和に富んだ感性豊かな人格の形成をめざし、学校教育・社会教育・文化の振興・文化財の保護活用・スポーツの振興を積極的に進めて参ります。

また、本年度は災害時の避

難場所としての機能も併せ持つ複合施設として、多様な利用者、団体等の出会いと交流の場となることが期待されている「龍郷町生涯学習センター（仮称）」の建築本體工事に着手します。

11月に開催される「国民文化祭」により龍郷町を県内外へ発信するとともに、町制施行40周年を記念して実施した「たつごうエッセイコンテスト」を継続して実施します。

### 人がふれあい個性が輝く 交流・連携のまちづくり

交流人口の拡大を図るために、各集落にある個性豊かな歴史や自然、伝統文化を有効に活用して、地域との交流も含めたツアー等の企画など、体験型の交流・連携を推進するため、実現に向けた多様な組織づくりを推進します。

男女共同参画社会については、男女共同参画基本計画に基づき、男女が社会の対等な構成員としてあらゆる分野における活動に参画し、共に責任を担うべき社会の実現に向けて取り組んで参ります。

### 効率的な行政運営で 共に創るまちづくり

平成27年度から新たにスタートする「龍郷町行政改革実施計画」前期5年計画を策定し、前計画の目標達成度を検証しながら、より効率的・効果的な住民サービスを実現するために、組織の横の連携を密にして積極的に取り組んで参ります。

また、本年4月から試行的に人事評価制度を導入して、職員個々の能力や業務への適格性の把握による適材適所への人材活用や、目標管理型の人材活用や、目標管理型の人材活用や、目標管理型の人材活用を続けることによる人材育成と職員の士気の高揚を図り、行政サービスの向上につなげて参りたいと考えております。

### 結び

今後とも、健全で持続可能な行政運営を堅持するとともに、町民の皆様が、龍郷町に住んで良かったと実感できるように、笑顔があふれ幸せ満足度の高いまちづくりに向け、予算編成をしたところであります。

第5次龍郷町総合振興計画の基本理念である「歴史と文化をつむぎ 未来へつなぐまちづくり」を指す施策を推進し、私たちのまち「たつごう」を魅力あるまちに創り上げて参りたいと思っております。町民の皆様には、特段のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げ、平成27年度の施政方針とさせていただきます。

龍郷湾を望む風景





# 町制 40 年 人口 6 千人台で推移

4月から新年度（平成27年度）が始まりました。今年度も進学や就職、転勤などで多くの方が新しい生活をスタートさせています。

そのまちの活気の礎となる龍郷町民の数（人口）を見てみると…。全国規模で人口減少が叫ばれていますが、長らくほぼ横ばいで推移してきました。

今号では、「龍郷町に住みたくなる」その魅力に迫ってみます。

# 人口なぜ減らない？ 龍郷町の魅力に迫る

## 移住問い合わせが多い赤尾木地区



## 年80名減少

平成27年1月1日現在の人口世帯を見てみると、龍郷町は2961世帯6059名（男2938名、女3121名）となっています。毎年の人口推移Ⅱ下表Ⅱでは、少子高齢化等の影響で近年はやや減少傾向にあります。

出生者数から死亡者数を差し引いた「自然増減」では、毎年約20～30名のマイナスとなつています。龍郷町への転出・転入で生じる人口差「社会増減」では、主要要因として町内在住高校生そのほとんどが島外に進学・就職を選択しているため、毎年約60～80名が減少している状況です。以上のことから、毎年80～110名程度が減少していると想定されています。特に平成26年～27年にかけては顕著に表れています。

人口・世帯の推移（各年1月1日現在）



## 好立地

自然増減・社会増減を見ると人口の減少は進んでいますが、その減少数が少なかつたり、または増加している月・年もあります。

その要因としては、Uターン（出身地に戻り仕事を持って暮らすこと）やIターン（出身地以外の地域

で仕事を持って暮らすこと）、転勤者に加え、近隣の市町村からの転入者が多いことにあります。これは、奄美大島における位置的な利便性が大きく関係していると思われます。

龍郷町は奄美大島の北部にあり、奄美大島の中心地（奄美市名瀬）と奄美空港（奄美市笠利町）の中間に位置し、どちらにも車で30分圏内のため、人気が高いと言われています。

国土交通省がまとめた「2015年地価公示結果の概要」を見ると、鹿児島県全体の変動率は全用途で23年連続の下落となりました。しかし、住宅地のうち龍郷町の2地点は「人口と世帯数は微減傾向ながら、奄美市のベッドタウンとしての需要が底堅い」として、県内で唯一、3年連続のほぼ横ばいとなっています。

## 住まいを整備

利便性から人気が高く、公営住宅のニーズが高まり、町営住宅の戸数も多く整備されています。（平成27年4月1日現在94棟283戸）また、鹿児島県においても県営住宅の戸数を多く整備していただいています。



町営住宅(浦園地)

しかし、公営住宅を年次的に建設しても慢性的な住宅不足のため、10年ほど前から民間の住宅も多く整備されてきています。

以上の要因から、龍郷町の人口がほぼ横ばいの状態がここ30年ほど続いています。

## 子育てにも力

龍郷町では「妊産婦・新生児訪問事業」を実施しています。保健師や助産師らが発育のことや育児相談、育児情報の発信などを行っています。そのほか、生後3〜5カ月から

「乳幼児健診」もあり、発育状況や栄養状態の確認なども行い、健やかな発育のための支援を行っています。

また、小学校就学前の乳幼児の疾病の早期発見と早期治療を促進し、健康の保持と増進を図るため「乳幼児医療費助成」も実施。保険内診療一部負担金の全額を助成しています。

子育て支援策など福祉の充実もあり、平成26年10月1日現在の鹿児島県内の年少人口（0〜14歳）市町村別割合では、県内4番目の高さ（15・5%）となっています。



衣・食・住に満足  
井上真三基さん（左）

東京都から転居。奥さんが「空気がきれいなところで生活したい」と希望し、奄美大島が移住先の選択肢となったそうです。

平成13年に初めて来島。そこで味わった黒糖焼酎などの島の食文化、温かい島人の気質などに惚れ込み、平成17年に龍郷町での生活をスタートさせました。

現在は赤尾木集落の新築住居で、妻と長男（小学3年）、長女（4歳）と4人暮らし。

「憧れのスローライフを満喫中です」



子育て教室



# 龍郷町デイケア じゃがいも会

龍郷町では、精神科通院中の方々がそのご家族やボランティアの方々と共に「じゃがいも会」というデイケアグループをつくり、様々な活動をおこなっています。

メンバーは社会復帰を目指し、病気のために家庭に閉じこもりになったり、地域で孤立することのないよう仲間と交流しながら励ましあってがんばっています。参加してみたい方や関心のある方は、どうぞご連絡ください。

## ★活動内容

- ・ 調理実習、カラオケ
- ・ 他市町村デイケア生との交流会
- ・ レクリエーション遠足
- ・ 畑での農作物作り  
(さつまいも、じゃがいも等)

などメンバーの希望を取り入れて内容は決めています。



♪じゃがいも会では、今後も活動を盛り上げていくために多くの方々に参加して欲しいと考え**ボランティアをしてくださる方を大募集しています!!**

料理や体操を教える等、自分の得意なことをボランティアでいかしてみませんか？

まずは気軽にお問い合わせを♪



お問い合わせ  
龍郷町役場保健福祉課  
TEL 69-4514 金井

# 龍郷町 議会だより

発行 / 龍郷町議会  
編集 / 議会だより編集委員会  
〒894-0192  
大島郡龍郷町浦110番地  
TEL 0997-62-0111 (内線155)  
FAX 0997-62-2535



平成27年第1回龍郷町議会定例会では、町議全員が大島紬姿で登壇しました。この取り組みは慣例となっており、平成17年から行われています。

龍郷町は、伝統的な銘柄である「龍郷柄」「秋名バラ」の発祥の地でもあります。議場では厳かな雰囲気の中、基幹産業である大島紬の振興をアピールしました。

## 第165号

### 平成27年第1回定例会

- ・一般質問（6名が登壇）・・・・・・・・ 8～13ページ
- ・議決結果・・・・・・・・・・・・・・・・ 14ページ





田畑 浩 議員

### 学校教育について

#### 問

学校教育の現状及び現在は町内の学校内でいじめや不登校の子ども達はいないのか。

#### 答(教育長)

全国的な人口減少、少子高齢化が本町でも見られ、児童生徒数が減少もしくは横ばいの傾向にあり、町全体の小学校児童数推移は、27年度381名、28年度373名、29年度348名、30年度354名、31年度346名、32年度349名、中学校生徒数推移は、27年度158名、28年度162名、29年度189名、30年度196名、31年度196名、32年度183名となり

ます。龍瀬小・赤徳小・大勝小以外は複式学級が続きます。

いじめ問題・不登校の現状については、各学校からの毎月の月例報告等で状況を把握しています。各学校においては、1件1件について、状況に応じて関係機関と連携を図りながら対応してまいります。

#### 問

土曜授業についての対応は。

#### 答(教育長)

文科省の法整備や県下43市町村、大島地区12市町村の動向を参考にし、本町児童生徒のこれまでの土曜日の過ごし方や学力検査結果等について、教育委員会において慎重に話し合いを重ね、平成27年度は4月・8月・3月を除く9カ月の第2土曜日に全小中学校で3時間授業を実施することになっております。

#### 田畑議員

龍郷町内の子ども達ひとり残らず龍郷の宝。学校や保護者はもちろん地域も一緒になって、子ども達に関わる諸問題が解決できるようになる事を願っています。

### 住民サービスについて

#### 問

窓口での転入者への対応は、どうなっているのか。

#### 答(町長)

転入者の対応については、町民税務課の総合受付窓口Ⅱ写真Ⅱにおいて「住民異動届」を記入していた



だき、担当職員から本人確認のための身分証明書の提示を求めたうえで、不明な点などについて聞き取りを行いながら、電算入力を済ませます。

その後、転入の際に必要な手続きとして、国民健康保険や介護保険・国民年金・児童手当や母子保健等の窓口において手続きを済ませていただき、最後に生活環境課の水道等の手続きや必要に応じて教育委員会での異動手続きなどを行ってもらっているところです。

町では平成25年度から総合窓口化を進めて、窓口を訪れる皆さんが可能な限りワンストップでサービスを受けられるよう、窓口レイアウトの見直しや担当課の配置換え、ローカウ

ター化の推進や各種証明業務の統合などを進めてまいりましたが、今後とも他のモデルとなる先進市町村の取り組み等を参考にしながら、町民の皆様の利便性向上や満足度のアップに向けて鋭意努力して参りたいと考えています。

#### 田畑議員

転入者が本町に来て不安な面も多い中、最初に接する役場の対応で龍郷町に来てよかったと思ってもらえるように期待します。



平岡 馨 議員

### 施政方針について

#### 問

人・農地プランの策定の具体的な内容は。

←次ページへ続く



答(町長)

秋名・幾里・嘉渡・円・浦・屋入・大勝・中勝・川内・戸口地区が作成済みで、龍郷・龍瀬・赤徳地区は今年中に関係機関や農業者代表等を交え検討会を行い、インターネット等で公表することになっていきます。

今後の地域農業のあり方や地域の中心となる経営体に対する農地の集積計画等を策定内容として記載しております。

問

基礎基本の確かな学力定着の重点課題の取り組みは。

答(教育長)

児童生徒の実態に応じて、ICTを効果的に活用した授業実践や個々に応じた指導の充実、研究授業を通じた校内研修の実施研究公開等の校外研修への積極的参加等確かな学力定着の為に取り組んでおります。

問

教職員の町内居住者の実

態は。

答(教育長)

校区内居住者は96名中41名です。管理職しか住んでいない校区もあります。

問

人事評価制度について。

答(町長)

4月から試行的に評価制度を導入し、職員個々の能力や業務への適格性の把握による適材適所への人材活用や目標管理型の評価を続けて行政サービスの向上に努めて参ります。

### 認可保育所について

問

大勝保育所の閉園について。

答(町長)

平成16年度から公立保育所の運営補助金が廃止され、町単独予算での対応を強いられ、財政が圧迫することとなったため、民間委託を推進し、平成27年度末

をもって廃園にしたいと考えています。

### 第2グラウンドの総合計画の早期実現を

問

全天候型陸上競技場の整備計画を。

答(教育長)

現在の陸上競技場をクレイ舗装で再整備を行う計画となっております。

### 県林業試験場跡地について

問

町として、県とどの様に対応を進めていくのか。

答(町長)

森林技術センターの試験研究施設として、引き続き亜熱帯林の林業の研究に活用するとしております。

### 糊張場及びフリーザーコンテナの活用状況について

問

糊張場の現状及び活用状況は。

答(町長)

町内6地区に大島紬の製作工程の一部を担う施設として利用されたが、着物離れにより大島紬の生産反数も減少し、それに伴い糊張場での作業も少なくなっているのが現状です。

問

フリーザーコンテナの活用状況は。

答(町長)

平成5年度に花き輸送を目的として3機導入したが、導入後、農家の減少もあり、未利用状態が続いており、稼働を試みたが機材が古く修理不可能であり、現在役場の資材入れとして利用しています。

### 空き家の適正管理について

問

町内の空き家の件数及び今後の対策は。

答(町長)

空き家調査の結果、町内に167戸の空き家があります。秋名から久場まで87戸で全体の52%を占めており、荒波地区の空き家の比率が高いのが現状です。所有者の経済的事情等により廃屋化した空き家が問題になっていきます。所有権等の権利関係の整理と公費投入の是非が議論になりますが、今後、個人の所有物に公費を充てることが出来るのか、判断基準をどうするかなど慎重に検討する必要があります。



中原 正栄 議員

**地方創生どう取り組むか**

**問**

全国津々浦々まで、景気を回復させる国の政策、町民にどのように反映させるのか。

**答(町長)**

本年度中に、中長期を見通した地方創生総合戦略を策定するほか、農水産物、特産品の販路開拓事業や特産品パッケージの作成、プレミアム商品券の発行、住宅改修補助、各種子育て支援事業等に取り組む計画をしています。

**問**

子育て世代の方から安心して遊べる公園整備を望む声があるが、計画する考えは。

**答(町長)**

本年度から着工する生涯学習センターの整備に合わせて、その施設を利用しながら安心して遊べる遊具も計画したいと思います。

**問**

ふるさと納税の寄付金、そのお礼返しと、どの様に活用されているのか。

**答(町長)**

お礼については、統一した内規作りの必要性を感じています。今のところ紬のネクタイや特産品Ⅱ写真Ⅱを送ってお礼としています。

こころです。

**介護支援事業が市町村の直轄となるが対応は**

**問**

介護の支援サービスが制度改正されるが、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で元気に暮らせる本町の計画は。

**答(町長)**

介護の要支援1・2の方の通所介護と訪問介護が直轄事業となります。

**問**

介護の予防・日常生活の支援を充実し地域の実情に合ったサービスや利用単価など、円滑に行う必要がありますので、体制を整え、平成30年末から実施したいと考えています。

**答(町長)**

介護保険料増額ですが、基準保険料と税額の設定割合を拡大とあるが、内容は。本年度より700円増額して基準料金を5200円

**学校教育について**

**問**

土曜授業再開について本町の対応は。

**答(教育長)**

子供たちの土曜日の過ごし方や学力検査結果等、教育委員会において慎重に話し合いを重ね、本年度は4月・8月・3月を除く9カ月間の第2土曜日で全小中学校で再開します。

**問**

小規模小中学校の統廃合推進と文科省から通達とあるが、教育長の考えは。

**答(教育長)**

地域にとつて、学校は地域社会の将来を担う中核的な場所であり、現状は統廃合については考えていません。

**問**

子供たちを見守るスクールソーシャルワーカーを本町も採用しているが、活動内容は。

**答(教育長)**

学校からの要請時や各校を定期的に回って、いじめや不登校、暴力行為等の相談を受ける役目を担っています。本町では1名の方にお願ひし活動がされているところです。





岩崎 晴海 議員

### 都市再生整備事業

#### について

問

町内河川のいたる所で土砂の堆積がみられるが、除去対策をどのように考えているか。

答(町長)

県管理の河川では先の豪雨災害を受け、河川改修や寄り洲除去等が行われているところ。本町も大雨のたび上流からの土砂が各河川に流失し堆積しています。緊急性の高い所から除去作業を進めてまいります。

問

瀬留川・久場川は、土砂が堆積し大雨時に氾濫の恐れがある。また、屋入川尻の護岸は、片方は石積みで

整備されているが、対岸は未整備のままある。整備計画は出来ないか。

答(町長)

河川の土砂除去については、河川管理費で整備を進めて参ります。屋入川尻は、整備に向け検討させていただきま。

### 龍瀬小学校

#### 防護対策について

問

龍瀬小学校体育館裏側の擁壁に安全対策が必要である。整備は出来ないか。

答(教育長)

平成26年度に指摘を受け現地視察を致しましたが、整備に至っていない現状です。

問

人の命は金で評価されるものではないと思うが。

答(教育長)

ご指摘のとおりでありま。今後、児童生徒が安心して安全な学校生活を過ごせ

る様、対策を考えてまいります。

### 施政方針について

問

自然遺産登録に向けた観光ルートの設定と整備計画はどのように考えているか。

答(町長)

本町は、自然観察の森や既存の観光名所旧跡があります。国立公園指定を見据えながら整備を進めて参ります。

問

本町は、平家滅亡の地と言えらると思ひます。平行盛が終焉の地となつた戸口の行盛神社Ⅱ写真Ⅱや今井権現神社、また、奄美全体と

なる喜界島から加計呂麻島の諸鈍シバヤの資盛、浦上の有盛神社など平家の歴史を掘り起こすと観光ルートが設定されます。それに、西郷翁をかけあわせると龍



郷町を全国にアピールできますが。

答(町長)

今後、自然遺産登録に向け各方面からの提言等を参考にしながら、本町の活性化につなげる様に努力をして参ります。

問

本町に農業技術指導職員を配置するとの事で、大変前進的な取り組みと評価致します。ハウス施設計画は考えられないか。

答(町長)

技術職員を配置すること

により農家の栽培技術の向上が期待され、新規就農者の育成や農産物生産向上にはハウスの整備は必要と思ひます。

問

国が進めている人・農地プラン政策と就農者支援政策と連携した取り組みが必要と考えますが。

答(町長)

今後、若い就農希望者の方や各地域の方々の意見等を参考に、本町農業生産の活性化に取り組んで参ります。



徳永 義郎 議員

### 福祉行政について

問

高齢者福祉について、都市部より福祉施設誘致について本町の考えは。

答(町長)

都市部では急速に高齢化が進むといわれています。介護サービス利用者が増加し、施設や用地不足が深刻化すると予想されています。

地方では福祉施設誘致は雇用の確保に期待しているところですが、しかし、介護保険制度は都道府県を超えて整備するということが想定していませんので、国や県などとの協議も相当必要ではないかと思えます。また、建設用地、建設費

用、入所者の介護費用、医療費などの条件で、高齢者施設を受け入れることで町の財政負担が増えないということでありましたら、働く場所が確保され地域経済にとつてはよいことではないかと思っております。

### 児童福祉について

問

大勝保育所の閉鎖について、経緯説明はどのようになっているのか。

答(町長)

健児保育園Ⅱ写真Ⅱが4月から現在より60名の定員を増やし、150名の定員で開園予定となっております。増改築後の定員の設定に当たっては、過去に町との協議を重ねたうえで、将来、大勝保育所児童の受け入れを想定して定員150名の設定をしています。今回、健児保育園の完成・開園により、子どもたちの

受け入れ態勢が整ったため、町の方針として大勝保育所は平成27年度末をもって廃園にしたいと考えています。

廃園につきましては、昨年12月上旬に大勝保育所の保護者への説明会をしたところですが、保護者の皆さんからは継続して運営してほしいとの意見も寄せられているため、今後とも保護者等への理解が得られるよう、説明会の開催や受け入れ先の見学会などで、善処して参りたいと考えています。



ところです。

### 産業振興について

問

6次産業化についての取り組みは。

答(町長)

事業者が得ていた付加価値を、農業者自身が得ることによって農業を活性化させようという国の取り組みで、平成23年度から進められております。

本町には6次産業化法に基づく総合化事業計画の認定を受け、開発販売を行っている店舗が2店舗ありますので、今後、町生活研究グループとも連携を図りながら、6次産業化へ向けて取り組んでまいりたいと考えています。

問

アンテナショップへの構想は。

答(町長)

自治体が設置しているも

のとして、鹿児島県が京都千代田区有楽町に(かごしま遊楽館)があり、特産品の販売だけではなく飲食店を併設するものとなっております。

また、昨年6月に鹿児島県商工会が鹿児島市に特産品市場(かご市)を開設したことから、本町からも食品関係業者3社、細関係業者4社が特産品を販売しています。設立となりますが、テナント料を含め維持経費が多額となると考えられますので、現在、開設については考えておりません。





碓山 幾郎 議員

### 施政方針から

問

龍南地区簡易水道基幹改良事業（赤尾木・手広地区）の水道整備は。

答（町長）

赤尾木・手広地区の水道施設は、給配水管の老朽化に伴い漏水の懸念が生じており、安定した水の供給を図る上でも新しい給水管の整備が必要です。

なお、平成27年度は手広地区、平成28年度に赤尾木地区を整備し、未整備地区である小平地区の配水管整備を計画して参りたいと思います。

問

人事評価制度の導入について。

答（町長）

本年4月から試行的に導入し、職員個々の能力や業務への適格性の把握による適材適所への人材活用や職員の士気の高揚を図り、行政サービスの向上に努めるものであります。

また、人事評価は、評価する側の育成が重要であることから、職員研修や評価制度を導入している自治体の事例等を参考にしながら、評価者に対する研修等実施していきたいと思えます。

問

町税等の確保について。

答（町長）

町税等は納期内納付をお願いしていますが、納付されない場合は、督促状を送し、その後も納付されない場合は、臨戸訪問、電話や文書による催告、納税相談等を実施しながら徴収対策に努めています。

なお、納税意識に欠け誠

答（町長）

意の見られない悪質な滞納者につきましても、地方税法にもとづく滞納処分として、財産調査の実施、預金の差押え等の厳しい徴収対策を行い、税負担の公平性の確保に向けて努力いたします。

### し尿だめ槽について

問

町内に整備してあるし尿だめ槽Ⅱ写真Ⅱの管理状況について。

### 総合運動公園の整備について

問

町内に児童公園等も必要かと思うが、その計画と必要の認識は。

答（町長）

本町の公園整備計画は、平成23年度に策定した総合運動公園整備基本構想の中で計画が盛り込まれております。

生涯学習センター（仮称）の建設と併せて、浦公園広場整備とポケットパーク、交流広場整備等を計画して

います。

なお、児童公園の必要性については、国が進めている地方創生総合戦略と相まって、子育て支援策の一環として公園整備は是非とも必要であると考えています。

次の定例会は**6月中旬**を予定しています。

あなたも議会を傍聴してみませんか？

場所：龍郷町役場2F

当日は受付用紙に住所氏名を記入するだけです。

# 第1回定例会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
<p>《 承 認 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合の共同処理する事務の変更並びに同組合の規約の変更</li> </ul>	承認(全員)
<p>《 議 案 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・龍郷町行政手続条例の一部を改正する条例</li> <li>・龍郷町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例</li> <li>・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定</li> <li>・龍郷町介護保険条例の一部を改正する条例</li> <li>・龍郷町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定</li> <li>・龍郷町地域包括支援センターの包括的支援事業等の実施に関する基準を定める条例の制定</li> <li>・龍郷町営住宅設置条例の一部を改正する条例</li> <li>・龍郷町営住宅管理条例の一部を改正する条例</li> <li>・平成26年度龍郷町一般会計補正予算(第6号)</li> <li>・平成26年度龍郷町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第4号)</li> <li>・平成26年度龍郷町簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)</li> <li>・平成26年度龍郷町生活排水処理事業特別会計補正予算(第4号)</li> <li>・平成26年度龍郷町デジタル放送事業特別会計補正予算(第2号)</li> <li>・平成26年度公営住宅等事業(浦団地)建築本体工事請負変更契約の締結</li> <li>・平成27年度龍郷町一般会計予算</li> <li>・平成27年度龍郷町国民健康保険事業勘定特別会計予算</li> <li>・平成27年度龍郷町介護保険事業特別会計予算</li> <li>・平成27年度龍郷町後期高齢者医療事業特別会計予算</li> <li>・平成27年度龍郷町簡易水道事業特別会計予算</li> <li>・平成27年度龍郷町生活排水処理事業特別会計予算</li> <li>・平成27年度龍郷町デジタル放送事業特別会計予算</li> <li>・平成26年度社会資本整備総合交付金工事(前川名里線)1工区請負変更契約の締結</li> <li>・龍郷町辺地総合整備計画の変更について</li> </ul>	可決(全員) 可決(全員)
<p>《 発 議 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・龍郷町議会委員会条例の一部を改正する条例</li> </ul>	可決(全員)
<p>《 諮 問 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員候補者の推薦 (平久美氏)</li> </ul>	
<p>《 陳 情 》</p> <p>陳情1号 「議会基本条例」制定についての陳情</p> <p>陳情2号 「集団的自衛権の行使を容認する閣議決定の撤回決議」の採択を求める陳情</p>	継続審査 継続審査



# 平成27年度 乳幼児健診日程表



健康診査では**発育・栄養状態の確認**や、**育児相談**等も行っていきます。**お子様の健やかな成長のための大切な健診**です。  
必ず受診するようにしましょう!!

※対象のお子様は、日程が近くなりましたら、郵送または母子保健推進員から個別の案内が届きます。

※9～11か月健診は小児科で公費受診券を持参のうえ受診してください。

## 乳児健診

実施月日	受付時間	対象児
4月23日 (木)	12:30～	H26.11.27～H27.1.23(3～4か月) H26.8.27～H26.10.23(6～7か月)
6月11日 (木)	12:30～	H27.1.24～H27.3.11(3～4か月) H26.10.24～H26.12.11(6～7か月)
8月27日 (木)	12:30～	H27.3.12～H27.5.27(3～5か月) H26.12.12～H27.2.27(6～8か月)
10月22日 (木)	12:30～	H27.5.28～H27.7.22(3～4か月) H27.2.28～H27.4.22(6～7か月)
12月10日 (木)	12:30～	H27.7.23～H27.9.10(3～4か月) H27.4.10～H27.6.10(6～7か月)
2月25日 (木)	12:30～	H27.9.11～H27.11.25(3～5か月) H27.6.11～H27.8.25(6～8か月)

## 2歳6か月児・5歳児歯科健診

実施月日	受付時間	対象児
4月9日 (木)	13:00～	H24.8.30～H24.10.9(2歳6か月～2歳7か月) H22.1.30～H22.4.9(5歳～5歳2か月)
6月25日 (木)	13:00～	H24.10.10～H24.12.25(2歳6か月～2歳8か月) H22.4.10～H22.6.25(5歳～5歳2か月)
9月17日 (木)	13:00～	H24.12.26～H25.3.17(2歳6か月～2歳8か月) H22.6.26～H22.9.17(5歳～5歳2か月)
11月19日 (木)	13:00～	H25.3.18～H25.5.19(2歳6か月～2歳8か月) H22.9.18～H22.11.19(5歳～5歳2か月)
1月28日 (木)	13:00～	H25.5.20～H25.8.28(2歳5か月～2歳8か月) H22.11.20～H23.1.28(5歳～5歳2か月)

## 1歳6か月児健診

実施月日	受付時間	対象児
6月4日 (木)	13:00～	H25.9.6～H25.12.4(1歳6か月～1歳8か月)
9月10日 (木)	13:00～	H25.12.5～H26.3.10(1歳6か月～1歳9か月)
12月3日 (木)	13:00～	H26.3.11～H26.6.3(1歳6か月～1歳8か月)
3月3日 (木)	13:00～	H26.6.4～H26.9.3(1歳6か月～1歳8か月)

## 1歳児・4歳児・母子歯科相談

実施月日	受付時間	対象児
5月20日 (水)	13:30～	H26.3.12～H26.5.20(1歳～1歳2か月) H23.3.12～H23.5.20(4歳～4歳2か月)
7月15日 (水)	13:30～	H26.5.21～H26.7.15(1歳～1歳2か月) H23.5.21～H23.7.15(4歳～4歳2か月)
9月30日 (水)	13:30～	H26.7.16～H26.9.30(1歳～1歳2か月) H23.7.16～H23.9.30(4歳～4歳2か月)
11月11日 (水)	13:30～	H26.10.1～H26.11.11(1歳～1歳1か月) H23.10.1～H23.11.11(4歳～4歳1か月)
1月13日 (水)	13:30～	H26.11.12～H27.1.13(1歳～1歳2か月) H23.11.12～H24.1.13(4歳～4歳2か月)
3月16日 (水)	13:30～	H27.1.14～H27.3.16(1歳～1歳2か月) H24.1.14～H24.3.16(4歳～4歳2か月)

## 3歳児健診

実施月日	受付時間	対象児
5月14日 (木)	13:00～	H23.9.6～H23.11.14(3歳6か月～3歳8か月)
8月6日 (木)	13:00～	H23.11.15～H24.2.6(3歳6か月～3歳8か月)
10月8日 (木)	13:00～	H24.2.7～H24.5.8(3歳5か月～3歳8か月)
2月4日 (木)	13:00～	H24.5.9～H24.9.4(3歳5か月～3歳8か月)

### 乳幼児健診内容

☆内科診察 ☆歯科診察 ☆身体計測 ☆栄養相談  
☆むし歯予防処置(フッ素塗布)等の実施

【受付時間】 個別案内で確認

【場所】 龍郷町保健福祉センター 2階

【料金】 無料

### 保育所巡回相談について

年2回、町内6か所の保育所を巡回して相談事業を実施しています。お子さまのことで気になることがありましたら、保育所へもご相談ください。

### 母子歯科相談について



歯科衛生士による歯の点検やフッ素塗布を行います。上記以外のお子様については文書での案内はありませんが、**希望されるお子様はどなたでも受診可能**です。健診日が近くなりましたら、防災無線で案内しますので、ぜひお越し下さい。

1回のフッ素は布で3～4か月間効果が持続します。

ご不明な点がございましたらお問い合わせ下さい。

<お問い合わせ先> 保健福祉課 電話 62-3111

# の 1 年 生

内各小学校で平成 27 年  
た。新しい友だちに囲ま  
生活。新 1 年生 75 名は、  
ら、元気よく入学式に臨

きょうがんばるぞ」「と  
たい」と笑顔いっぱい  
先生や保護者、そして地  
成長を温かく見守りまし  
敬称略)



## 葵小学校

- ・ひめの ふうが
- ・いけだ あねむ
- ・えんやま ゆらい



## 龍郷小学校

- ・かわぐち たいが
- ・しらはた ゆあん
- ・りゅう ももか



## 秋名小学校

- ・やまさき みほ



## 赤徳小学校

- |             |            |            |             |
|-------------|------------|------------|-------------|
| ・おおしげ ゆうのしん | ・おしかわ こたろう | ・たいら れんたろう | ・かつ ゆりあ     |
| ・おか しんのすけ   | ・おとの こうき   | ・とくなが ゆうた  | ・かわばた ななこ   |
| ・おぐら りょうだい  | ・かつ はやと    | ・やまだ ゆら    | ・かわむら ゆい    |
|             | ・かむら ひなた   | ・いかりやま かな  | ・ふかや こういほまな |
|             | ・しい あおと    | ・いかりやま さき  | ・まつだ こはる    |
|             | ・すすき かく    | ・いかりやま なのこ | ・みやした ひかり   |



4月6日(月)、龍郷町度の入学式が行われまして新しく始まった学校ドキドキワクワクしながらしていました。

新1年生たちは「べんもだちをたくさんつくり日々を過ごしています。域全員で、子どもたちのよう。(順不同、



戸回小学校

- ・あいしま かすき
- ・あかつか けいいちろう
- ・かつ はる
- ・まつばら こはく
- ・みややま らいぞう
- ・ふくはら りのん
- ・ふとり せんじゅ
- ・みなみ しづく
- ・やまぐち ゆら
- ・やまだ ここな
- ・よしむら ことめ



龍瀬小学校



- ・いがわ りょう
- ・いわさき しゅんせい
- ・いわさき りゅうしん
- ・うけしま こうせい
- ・おかやま ゆうだい
- ・かわばた かいせい
- ・さかえ そうた
- ・せい こうき
- ・とくなが あおい
- ・やすえ りとむ
- ・あさ ゆすな
- ・いわきり あまね
- ・いわきり ひなの
- ・かいづ そら
- ・かみの ゆずは
- ・まるた あゆな
- ・よしみ あやか



大勝小学校

- ・あさい はな
- ・あまみず れん
- ・おおつぼ ゆすな
- ・おかえ ひより
- ・かつめ あいる
- ・さかえ こうき
- ・さかえ とむ
- ・さかえ ゆうき
- ・しげのぶ りょうすけ
- ・たむら ここみ
- ・たわら あおたろう
- ・にへい なる
- ・はせば ゆいか
- ・ひろはた たけあき
- ・むらやま はるか
- ・やました にこた
- ・よしだ ゆうが
- ・よねやま まこ
- ・わたり ゆら

## 平成27年度全国戦没者追悼式参列遺族の募集

全国戦没者追悼式への参列を希望される遺族の方を募集します。  
 ・期日 平成27年8月15日(土)  
 ※前日から団体行動になります。  
 ・場所 日本武道館

(東京都千代田区)

・対象者 ①戦没者の配偶者及び三親等内の遺族 ②一般戦災死没者の配偶者及び三親等内の遺族  
 ※過去に参列したことがない方を優先します。

※今年度は「次世代への継承」という観点から「18歳未満の遺族」についても募集します。

・申込期間 平成27年5月1日(金)～5月29日(金)

・募集人員 65名 ※申し込み多数の場合は選考となります。

・申込先 龍郷町役場町民税務課 援護係 ☎69・4519、県庁社会福祉課 ☎099・286・2830

## 5月の「どうくさ会」

高齢者の健康増進を目的としています。お気軽にご参加ください。※当日の時間は放送等でご確認ください。

時間 ・午前9時半  
 ・午後2時  
 場所 ・各集落公民館等

午前	12日	13日	20日	28日
	嘉渡	赤尾木	円	龍郷

午後	2日	7日	8日	9日	11日	12日	13日
	安木屋場	手広	大勝	玉里	芦徳	秋名・嘉渡	円・中戸口
	14日	15日	18日	19日	20日	26日	28日
	龍郷	安木屋場・瀬留	浦	上戸口	赤尾木	嘉渡	大勝

## 無料法律相談のご案内 奄美法律センター

奄美市と鹿児島県弁護士会が共同で開催しており、龍郷町民も無料で相談することができます。

※電話予約が必要です(先着順)  
 ・14日(木) 鈴木 穂人 弁護士 (午後1～4時半)

・21日(木) 清水 沙知 弁護士 (午前9時半～11時半)

・28日(木) 宮路 真行 弁護士 (午前11～12時、午後1～3時半)  
 ◇ひとり30分(続けての申し込みはご遠慮ください)

【お問い合わせ・予約先】  
 奄美市役所市民協働推進課市民生活係 ☎52・1111 (内線1715・1716)

## 「クラシックの扉」第2弾 りゅうゆう館自主事業

りゅうゆう館は、自主文化事業「クラシックの伝道師!ピアノ」スト田村緑の3才からの本格クラシックを開催します。

英国ギルドホール音楽院を首席で卒業し、12年間の欧州滞在経験

を活かして、音楽普及プロジェクトに携わるピアニスト田村緑さんが奄美大島に初上陸。絵本朗読とピアノ演奏のコラボレーションやピアノの音が出る仕組みを体験してもらおうコーナーなど、独創的なプログラムで音楽の楽しさや面白さを伝えます。

本格的なクラシック演奏もあり、子供から大人まで楽しめます。ご家族そろってご来場ください。

・日時 平成27年5月30日(土) 午後6時開場、同6時半開演  
 ・場所 りゅうゆう館文化ホール  
 ・入場料 大人1千円(当日1500円)、高校生以下500円(当日同額)

・お問い合わせ先  
 りゅうゆう館 ☎62・5566

## 龍郷町の人口

平成27年3月末現在

		前月比
世帯数	2,937	-23
人口	5,967	-100
男	2,888	-58
女	3,079	-42



# 5月行事予定表

※行事は変更になる場合があります。あらかじめご確認ください。

日	行事名等	時間	場所
1 (金)	でいでいクラブ	13:30～	どうくさあや館
8 (金)	でいでいクラブ	13:30～	
14 (木)	3歳児健診	13:30～	
15 (金)	でいでいクラブ	13:30～	
17 (日)	龍郷町一般バレーボール大会	8:30～	りゅうゆう館
20 (水)	母子歯科相談	13:00～	どうくさあや館
22 (金)	でいでいクラブ	13:30～	
28 (木)	おなかスッキリ運動教室	19:30～	
29 (金)	でいでいクラブ	13:30～	
31 (日)	龍郷町家庭婦人バレーボール大会	8:30～	りゅうゆう館

## でいでいクラブ

元気はつらつ教室（65歳以上の運動機能改善）を終了した方を対象に、月2回程度、筋力トレーニングなどの運動を行い運動機能の維持増進を図ります。

保健福祉課 ☎ 69-4514



### ふるさと納税お礼

- ・碓山 隆宏さん（千葉県）
- ・本山 秀男さん（東京都）
- ・肥後 重子さん（龍郷町）
- ・羽生 和美さん（福岡県）

### お誕生おめでとうおめでとうございます

- 【3月届出】 保護者名（敬称略）
- 中和田 敬翔 明宏 中勝
  - 岩切 琉 ゆりか 瀬留
  - 牧 莉海 貴輝 嘉渡
  - 牧 亜佳 貴輝 嘉渡
  - 登島 廉 達也 下戸口
  - 泰江 玲依 愛 真太郎 玉里

### ごめい福をお祈りいたします

- 【3月届出】（敬称略）
- 山田 武三 (91) 秋名
  - 窪島 利子 (88) 嘉渡（龍郷の里）
  - 井ノ上 三代子 (79) 嘉渡
  - 静 為雄 (52) 川内
  - 窪田 カズエ (95) 浦（愛寿園）
  - 興 敏雄 (75) 上戸口
  - 牧主 ミツ子 (93) 浦（愛寿園）
  - 萩原 茂俊 (84) 浦（愛寿園）
  - 濱田 盛三 (84) 安木屋場

### ごめい福をお祈りいたします

- 重田 義一 (72) 中戸口
- 豊山 千市 (92) 赤尾木

### 香典返しお礼

- ・積重直さん（故積八重子さん）
- ・安木屋場老人クラブへ
- ・藤山千恵乃さん（故濱田盛三さん）
- ・安木屋場老人クラブへ
- ・重田スエ子さん（故重田義一さん）
- ・中戸口老人クラブ、愛寿園へ
- ・川上邦道さん（故川上ウツコさん）
- ・中戸口老人クラブへ
- ・興初江さん（故興敏雄さん）
- ・上戸口集落へ
- ・渡武弘さん（故渡チエさん）
- ・赤尾木老人クラブへ
- ・豊山アツエさん（故豊山千市さん）
- ・赤尾木老人クラブへ
- ・萩原キミエさん（故萩原茂俊さん）
- ・愛寿園へ
- 【社会福祉協議会】
- ・中村勝盛さん（故中村武子さん）
- ・窪島彬文さん（故窪島利子さん）
- ・井ノ上安治さん
- ・（故井ノ上三代子さん）
- ・萩原キミエさん（故萩原茂俊さん）

**玉黄金** 満一歳になりました。  
この子たちに誇れる町をみんなでつくりましょう。

4月



くまもと はるま  
**隈元 晴允 くん**  
H 26.4.18 生  
父 源太 / 母 恵美 秋名



さかえ なぎと  
**榮 凧斗 くん**  
H 26.4.5 生  
父 洋市 / 母 美香代 久場



おさ ゆずは  
**長 結朱葉 ちゃん**  
H 26.4.4 生  
父 淳也 / 母 やよい 大勝



創作紙芝居「愛加那物語」は、小学生の子どもたちが郷土の歴史を学ぶ一助になればと制作されたものです。西郷隆盛（南州）の妻で、龍郷町名誉市民の西郷菊次郎氏の母である「愛加那」は、苦難を背負いながらも強く逞しく生き抜いた女性でした。その愛加那を顕彰するために、シリーズで連載しています。

# 志 西郷南州翁の足跡 ④

## 「愛加那物語」

志塾・西郷塾 文  
瀬戸口 広人 絵

④その頃、島の人たちは砂糖を作って暮らしていましたが、薩摩藩の決まりで自分たちの作った砂糖をたべることはできませんでした。しかも田や畑も失くし奴隷のように働かされていました。

愛加那は、

「私よりずっと小さい子どもたちも家族の為に金持ちの家で働かされている。なんとかしてあげられないものか。」

といつも思っていました。

源吾もまた

「この島は本当に貧しい。どうにかしないといけない。」  
と思い、役人をお願いをしたりして貧しい人を



助けました。  
二人は島を変えるためにどうしたらよいか話をしました。

その様子を見ていた愛加那のおじの佐民は同じ考えを持つ二人に結婚を勧めました。

⑤その年の秋、二人はおじの佐民夫婦の仲人で結婚式をあげました。

「おめでとうございます。」「おめでとう。」

愛加那は二十三歳、源吾は三十三歳でした。しかし、愛加那は藩の掟で島にいるときだけの奥さんでした。ですから、いつか源吾が島を離れるときは一緒に歩いて行くことは出来なかったのです。

二人はそのことを知っていました。大喧嘩をすることもありませんでしたが、周りからうらやましがらうなどとも仲の良い夫婦でした。

